

力だめしパートⅡ 中学校国語1 【話すこと・聞くこと】

このプリントは、全国や大阪府の学力・学習状況調査などで、みなさんが苦手としていた問題を集めたものです。挑戦して、あなたのこれから学習に役立ててください。

〔3〕 竹田さんの学級では、生徒会役員選挙が行われます。次は、生徒会長に立候補した青山さんと小川さんの【演説の一部】です。これらを読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

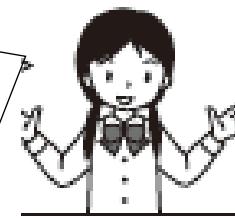
青山さんの【演説の一部】

私は、野球部の部長をしています。試合に勝つためにはチームワークが必要です。しかし、部の中にはいろいろな考え方の人がいます。意見が食い違ったときは大変です。でも、私はそれを乗り越えてきました。それは、部活動でも生徒会活動でも同じです。生徒会長に当選したら、みんなをまとめる力強いリーダーになります。そして明るく楽しい学校を目指します。



小川さんの【演説の一部】

今までの生徒会活動では、様々な活動を生徒会役員や各委員会が行っていましたが、私は新しい生徒会活動の在り方を考える時期に来ていると思います。「委員会には入っていないけれど、学校のために何かしたい」、「あの委員会が行っている活動を自分も手助けしたい」などと考えた人も、気軽に参加できるように仕組みを変えたいと思います。



〔1〕

青山中学校では、放課後に文化祭の準備をしています。「昨日の活動で後片付けが不十分だった」という報告が美化委員からあります。青山さんは、どのような特徴がありますか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 青山さんは、聞き手の興味や関心を引き付けるために質問を交えながら話している。
- 2 青山さんは、自分の実績を詳しく説明するために、様々なとえを用いて話している。
- 3 青山さんは、演説の内容を聞き取りやすくするために、一文を短くして話している。
- 4 青山さんは、自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話している。

3

H 20 A 話の構成に注意し、的確に聞き取る

話し合いをするときには、話の構成に注意しながら的確に聞き取ったり、話し合いの方向をとらえたりしながら、話し合いが建設的なものとなるようにしましょう。

2

- 1 それまでに出た意見について質問することで、話し合いを分かりやすくしている。
- 2 自分の立場に基づいて主張した上で、別の立場の意見との両立をさぐっている。
- 3 対立している考え方を整理し、どちらがより適切か根拠を挙げて説明している。
- 4 それまでに出た意見を列挙して、それぞれの長所と短所とを指摘している。

解答

二人の話し方のちがいをさがしてみましょう。

表現の仕方、話し方によって、聞き手が聞きやすくなり、印象が変わります。目的や相手に応じて、より良い話の仕方はどうあるべきか、考えましょう。



大事なこと！

2 山本さんは、調べたことをまとめて発表する学習に取り組んでいます。次は、山本さんがまとめた【ノート】と、発表の際に【提示する資料】です。これらを読んでどの問い合わせに答えなさい。

【ノート】

4月12日

消しゴムについて

1 何からできているのか？

現在、広く使われているプラスチック製消しゴムの主な原料は、塩化ビニル樹脂、可塑剤、炭酸カルシウムなどである。

2 どうやって作るのか？

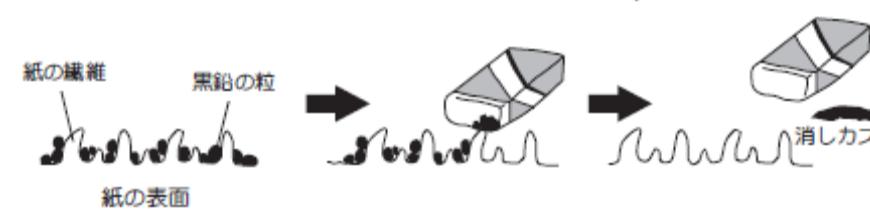
原料をかくはん機と呼ばれる機械の中に入れ、よく混ぜる。このときに着色料や香料を加えると、色や香りの付いた消しゴムを作ることができる。混ぜ合わせた原料を型に入れ、約1時間加熱し、固める。固まった板状の消しゴムを型から取り出し、必要な大きさに裁断する。

3 どうして消せるのか？

「字を書く」とは、紙の繊維の間に鉛筆の芯に含まれる黒鉛が入り込むこと。逆に、「字を消す」とは、この黒鉛を紙の繊維から取り除くこと。

消しゴムで字をこすると、黒鉛の粒が消しゴムの表面に引き付けられる。これは、可塑剤と黒鉛とが互いに引き合う性質を利用している。引き付けられた黒鉛の粒が丸め込まれ、消しカスとなる。

図にするとこんな感じ↓



4 ケースは必要なのか？

紙のケースは、消しゴムの保管に大切な役割を果たしている。「使ったあとはこのケースに入れてください。」と書いてあるのは、消しゴムが他のプラスチック製品とくっついてしまうのを防ぐため。これは、消しゴムに含まれている可塑剤が他のプラスチック製品に作用して柔らかくする性質を持っているからである。

※筆箱の中で定規と消しゴムとがくっついてしまうことがあるのは、消しゴムに含まれる可塑剤が原因。

H 2 2 B 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明する

資料を作成し、発表に使用する際には、文章から必要な情報を集め、効率的に作成すること、相手や目的により資料の表現や提示の仕方を工夫することが大切です。



（修正の方法）

A B C

←選んだ（修正の方法）に○を付けなさい。

（修正の具体的なやり方とその理由）

（解答例）Aを選んだ場合・・・「字が消えるひみつ」というタイトルにする。理由は、タイトルに「字が消える」が入ることで発表の中心が明確になり、「ひみつ」で、消しゴムの原料や字が消える仕組みにあると説明できるから。（90字）

Bを選んだ場合・・・資料2と3を入れ替える。理由は、資料3で作り方を説明したあとで、原料に注目させ、資料2、4、5で字が消えるのは可塑剤の性質にあることが聞き手に印象付けられるから。（81字）

Cを選んだ場合・・・資料3を使わない。理由は、字が消えることを中心に発表するので、字を消すことによって必要な可塑剤の役割と関係がない消しゴムの製造方法を省いた方が聞き手に伝わりやすいから。（81字）

（修正の方法）

条件1 [提示する資料] ①のタイトル「消しゴムについて」を変える。

条件2 六十字以上、九十字以内で書くこと。

（修正の方法）

A [提示する資料] ②から⑤の順番を入れ替える。

B [提示する資料] ②から⑤の何枚かを使わないことにする。

（修正の方法）

C [提示する資料] 中にある言葉を使って書くこと。

山本さんは、字が消えることを中心に発表しようと思い、【提示する資料】を修正することにしました。あなたなら、どのように修正しますか。（修正の方法）を次のAからCまでの間から一つ選びなさい。（どの（修正の方法）を選んでもかまいません）。その上で、（修正の具体的なやり方とその理由）をあとに条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは一本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。